

平成 30 年度 第 10 回 政策調整会議 会議録④

◆開催日時:平成 31 年1月 22 日(火) 16:02～16:06

◆開催場所:第1委員会室

◆出席委員:小山副市長、土佐副市長、樋口教育長、赤井市長公室長、藤浪企画調整部長、
坂井総務部長

◆審議事項

・平成 31 年度の組織・機構について……………企画課⇒承認

◆審議概要

『平成 31 年度の組織・機構について』

〈説 明 者〉新内企画(行財政改革担当)課長、宅田主幹、井上主査

◎付議依頼書に基づき説明

◎質問や意見等はなく、本件、原案のとおり、政策決定会議に付議する。

平成 31 年 1 月 18 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 企画調整部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	平成 31 年度の組織・機構について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	行財政改革や庁舎建替など本市が積極的に推し進めている政策の実現に向けた平成 31 年度の組織・機構の編成について、承認いただきたい。
説明者	企画課 新内
	宅田
	井上
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	平成30年度 第10回会議
付議事項	平成31年度の組織・機構について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	行政サービスを適切に提供するため、効果的かつ効率的な組織編成を行う。

★総合計画上の位置付け

202030101	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)事務を効果的・効率的に行うための体制が整っている
	目指す成果	①効率的かつ円滑に業務が実施されている
	行政の役割	ア 合理的な組織編成と適正な人員管理に努める

★現状と課題

本市の組織機構については、これまでも、社会情勢の変化や市民ニーズに応えるため、随時の見直しを行ってきたところ。喫緊の課題である庁舎建替についても、具体化してきており、今後の組織を計画的に検討する時期に差し掛かっている。その検討の方向性を定める必要がある。

また、想定する方向性を見据え、現在精力的に取組を進めている行財政改革を中心に、本市が推し進めるまちづくりをより効果的、効率的に実現するための平成31年度の組織について検討を進め、案を策定した。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
翌年度組織・機構の検討		14	0	0					
中・長期組織・機構の検討					0				
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源	14							
	その他								
事業費			計		H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			0		0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
						H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。